

## 【復興支援道路】

# 一般国道340号立丸峠工区の着工式を開催しました！

～ 本格復興推進年！トンネル工事が本格化 ～

県南広域振興局土木部遠野土木センター  
沿岸広域振興局土木部宮古土木センター

平成26年8月12日、県が「復興支援道路」として遠野市恩徳～宮古市小国間で整備を進めている一般国道340号立丸峠工区の着工式を開催しました。

県、宮古市、遠野市、地権者、工事関係者等約100名が出席し、県土整備部蓮見技監の挨拶の後、山本宮古市長、本田遠野市長が祝辞を述べられました。

着工式には、地元の宮古市立小国小学校の児童も参加し、「立丸峠工区開通への想い」を発表していただいた後、沿岸広域振興局桐田副局長に「立丸峠工区開通への想い」を書いた手紙を渡していただきました。その後、関係者による鍬入れを行い、工事業者と小国小学校児童による工事着工の号令でトンネル工事に着手しました。

県土整備部蓮見技監の挨拶

宮古市立小国小学校の児童の発表



関係者による鍬入れ



立丸峠工区は、大峠工区 3.26km、新田工区 0.25km、小峠工区 1.70km の3工区から構成される延長 5.21km、総事業費約 85 億円の事業で、平成 24 年 10 月に新規事業化し、平成 30 年度の完成を目指して事業を進めています。主要構造物として、大峠工区に（仮称）大峠トンネル（L=1,839m）、小峠工区に（仮称）小峠トンネル（L=920m）を計画しています。

通常、新規事業化から工事着手までは約 3 年の年月を要しますが、県では、平成 24 年 10 月の新規事業化以来、「地質調査」、「設計」、「用地測量」など、あらゆる作業を並行して進め、新規事業化から約 1 年後の平成 25 年 11 月 26 日には（仮称）小峠トンネル築造工事を入札公告、更に半年後の平成 26 年 3 月には工事着手するという異例のスピードで事業を進めています。

また、（仮称）小峠トンネル築造工事は、トンネル工に前後の道路改良工を含め、小峠工区 1.70km 全線を一括発注する大規模ロット発注を行うことで、工期を大幅に短縮。この「早期発注」+「大規模ロット発注」により、小峠工区 1.70km については平成 28 年度の全線供用を目指して工事を進めていきます。

残る工区についても、新田工区は工事発注済（平成 26 年度供用予定）、大峠工区に計画している（仮称）大峠トンネルについても平成 26 年度中に工事発注する予定としています。

県では、今年を「本格復興推進年」と位置付け、復興を強力に推し進めており、1 日も早い復興のため、安全に万全を期し、早期完成に向けて工事を推進して行きます。

